



宮城学院広報
MIYAGI GAKUIN

vol.
173

2025.10

Glory to God

巻頭特集

宮城学院創立140周年
脈々と受け継がれる理念と想い

宮城学院理事長・学院長 佐々木 哲夫

MG TOPICS

Close-up! 学びの世界

宮城学院女子大学附属認定こども園 森のこども園 教頭
庄子 いづみ

卒業生紹介

渡辺 優さん

タイトル「Glory to God」は宮城学院の校歌「天にみ栄え」の
英訳であり、本学院のキリスト教精神を象徴する言葉。
旧東三番丁キャンパスの講堂内にも、この言葉が掲げら
れていた。



宮城学院創立140周年 脈々と受け継がれる 理念と想い

県内最古の女子校としてどのような役割を果たしてきたのでしょうか。

宮城学院は1886(明治19)年9月、合衆国ドイツ改革派から派遣されたE. プールボーをはじめとする宣教師たち、および日本人基督者の押川方義らによって、「宮城女学校」の名で設立されました。

キリスト教系の学校は、同年に新島襄が設立した宮城英学校(東華学校)や、後に東北学院となる私塾・仙台神学校が挙げられますが、いずれも男子校でした。宮城女学校は宮城県で初めて認可

されたキリスト教女子校です。その目的はキリスト教的な女子教育を施し、善良な婦人を育て、日本の未来を立て直すこと。共学校でも女子教育は可能ですが、男子の目があるかないかでその質や成長度合いは大きく変わります。それは在校生・在学生や、7万人を超える卒業生たちの強くたくましい姿を見れば一目瞭然。来年140周年を迎える宮城学院は、その長い歴史の中で女子校における女子教育をリードし、さまざまな分野でリーダーシップを発揮できる女性を輩出し続けてきました。

創立時の理念はどのように受け継がれてきたのでしょうか。

宮城学院の創立者の一人であるW. ホーイは、とある演説の中で「もしもキリスト教的な声が聞かれなくなり、キリスト教的影響がこれらの建物の中で支配的でなくなることがあるならば、すべての煉瓦を引き倒して塵と化せしめんことを」と語っています。私は、ホーイのこの宣教師スピリットこそが宮城学院の創立の理念の本質であり、かつて建学の精神として掲げられていた「全学に漂う雰囲気」として現代まで脈々と受け継がれていると考えています。

この「雰囲気」を特に感じられるのが「礼拝」です。宮城学院は毎週月・水・金曜の昼休みに大学礼拝を行います。2022年に赴任してきた当初、私は「昼食の時間を削ってまで礼拝に参加する学生はいないだろう」と思っていました。しかし実際は多くの学生がきちんと参加



していた。私はそのことに驚くと同時に、ホーイが言う「キリスト教的影響」が今なお受け継がれていることを実感しました。現在掲げている建学の精神、およびスクール・モットー「神を畏れ、隣人を愛する」は、この理念を成文化し、2000年に制定されたものです。その底流に、創立者たちが所属した合衆国ドイツ改革派教会の信仰、宮城女学校第一校舎に掲げられていた聖句「Glory to God(神を畏れ、その栄光を讃えなさい)」もあります。

今後の女子教育のあり方と学院の展望について教えてください。

大事なことは、創立時から一貫して行ってきた女子校としての女子教育を維持していくことです。そのうえで、まずはキリスト教の女子校としてこれまで築き上げてきた「雰囲気」を継承していくこと、そしてグローバル教育・多文化共生教育を発展させていくことを目指していきます。また、女子校における情報教育のあり方を模索し、有能な女性技術者を育てていくことも視野に入れています。

また、日本で数多くの西洋建築を手掛けた一粒社ヴォーリズ建築事務所の設計による宮城学院のキャンパスは、水の森公園に隣接した緑豊かな環境にあり、礼拝堂を中心とした構成によってミッション・スクールとしての理念を見事に表現しています。キャンパスは単なる学びの

場ではなく、建学の精神を表す場であり、それ自体が理念を具現化するラーニング・コモンズであると考えています。建物を大事にすることが創立の理念、および宮城学院における「教育」を大事にすることにつながるから、今後もできる限り、赤レンガの品格ある校舎を守り継いでいきたいと思っています。

各設置学校・こども園の教育を通してどのような価値を育みたいですか？

現在、文部科学省は「学力」を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学習意欲」の3つの要素として定めています。知識を学び、知識を用いるための知恵を獲得し、知識と知恵を備えた人間性を育むことは、私立キリスト教学校の教育目的である「人格教育」に通じるもの。各校にはこれらを念頭に、創立時からの理念に則って園児・生徒・学生を丁寧に育て、人間的な成長を促していくことを期待しています。同時に、保護者の皆さまが希望する教育レベルを備えることで、人間力と知識・知恵をバランスよく育んでいくことも重要になってくるでしょう。そして園児・生徒・学生の皆さんには、宮城学院での経験を大事にし、その経験を

糧に、社会に出てから力を発揮していただきたいと思います。

宮城学院を支えてくださる皆さまへメッセージをお願いします。

140周年を迎えるにあたって、現在「中高新校舎建築」と「上谷刈駐車場・グラウンド整備」の2つの記念事業を進めています。駐車場は来年4月から供用を開始する予定なので、車で通いたい学生の選択肢の一つになれば幸いです。また、近隣の商業施設に宮城学院女子大学初のサテライトキャンパスを開設することが決まるなど、宮城学院は地域との結びつきを強めています。特に地域でのボランティア活動は人間力を鍛えるために必要なものであるという考えから、法人全体で「ハートフルボランティアサポート」の制度を実施し、中学から大学までの各ボランティア団体を支援しています。ボランティア活動を単なる労働奉仕としてではなく、学びの一環として体験し、人間としての成長を促すことが目的です。こうした「サービسلーニング」の考えに基づき、今後も地域との連携について考えていきたいと思っています。



1949年生まれ。仙台市出身。東北大学工学部卒業。東北大学大学院工学研究科修了(工学修士)。米国イリノイ州トリニティ神学校神学修士課程修了(Th.M.)。米国イリノイ州シカゴ・ルーテル神学校神学修士課程修了(Th.M.)。アジア神学大学院日本校神学博士課程修了(Th.D.)。日本基督教団正教師。東北学院大学名誉教授。東北学院元院長。2022年宮城学院理事長・学院長に就任。

宮城学院
理事長・学院長
佐々木 哲夫



宮城学院創立140周年 記念事業

2026年に宮城学院は創立140周年を迎えます。合衆国ドイツ改革派教会の宣教師E.プールボー、W.ホーイ、M.オールトおよび横浜公会の基督者押川方義らによって設立された宮城県初の女学校として、皆様のお支えにより発展を続け、これまで7万名余の卒業生を輩出してまいりました。

これからも東北を代表する女子教育機関として更なる発展を重ねるべく、140周年記念事業として計画しておりますのが施設設備の充実です。46年前の1980年、東三番丁より移転して建設された桜ヶ丘キャンパスは、統一されたレンガの校舎と広々とした緑の芝生のコントラストに彩られ、野鳥がさえずる森の清浄な空気に包まれた、東北随一の美しいラーニング・コモンズになっています。この郊外型キャンパスの魅力を今後も最大限に活用・発信していくために、桜ヶ丘キャンパス北西地区に「中高新校舎（教室棟）」を建築、長命ヶ丘東交差点南東角に「上谷刈駐車場とグラウンド」を整備し、交通アクセスや情報通信といった教育インフラをより充実させたいと考えております。

本学院を取り巻く関係の皆様（卒業生、在校生・保護者、教職員、一般篤志家、企業、団体など）におかれましては、宮城学院の教育と社会的使命にご賛同をいただき、さらなる飛躍を果たすためのお力添えと特段のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

中学校高等学校新校舎 (教室棟1-4F)建築



- 建築面積：706㎡
- 延床面積：2,574㎡
- 高さ：17.35m
- 階数：地上4階建て
- 構造：RC造
- 施設：一般教室16、オープンスペース3
- 時期：2027年4月供用開始予定

上谷刈駐車場(学生利用可294台)・ グラウンド整備



- 駐車場面積：9,615㎡
- 駐車台数：一般294台・バス2台
- グラウンド面積：8,280㎡
- 用途：多目的グラウンド
- 時期：2026年4月供用開始予定

宮城学院創立140周年記念事業募金

目的／上記記念事業への支援

募集期間／2025年4月1日～2026年3月31日

目標額／2億円

募金額／1口：1万円(金額の多寡にかかわらず感謝してお受けいたします)



お申込み方法等詳細はこちら

～ミヤガクの「今」届けます～

MG TOPICS

宮城学院 (MG) の様々な行事や取組、
学生生徒の活動をご紹介します。



QRコードを読み取っていただくと
より詳細な情報をご覧いただけます。

中学校
高等学校

ソフトテニス班 創部以来初のインターハイ出場！

今年度の全国高等学校総合体育大会・ソフトテニス競技大会個人戦に、宮城学院高等学校ソフトテニス班より大原風花さん・小野寺葵さんペア(ともに高3梅組)が出場しました。ソフトテニス班創部初の快挙、悲願のインターハイ出場を果たしました！

ソフトテニス班は今年、創設6年目を迎えています。歴史の浅いクラブながら、高校総体宮城県大会では団体戦で2年連続準優勝を果たすなど、着実に実績を積み重ねてきました。部員は現在約20名、創部当初より指導にあたってくださっている水間監督のもと、明るい雰囲気で行き詰まりを乗り越えています。夜21時まで練習しているため、勉強との両立が大変な面がありながらも、学業でも好成績を収めている生徒が多く、まさに文武両道の模範となっているクラブです。

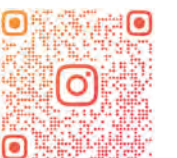
記念すべき初のインターハイで、大原・小野寺ペアは、見事1回戦を突破する健闘を見せました。2回戦では対戦相手の尽誠学園に2-4で惜敗しましたが、2人は最後まで諦めることなく、得意の攻めるテニスを繰り広げ戦い抜きました。部員の期待を背負っての初インターハイは、緊張もあったと思いますが、自分たちらしいソフトテニスができることは財産となり、次へ引き継がれていくことでしょう。応援してくださったOGをはじめとする各関係の皆様、ありがとうございました。



インターハイを終えて

三年生としてキャプテンを務めた私は、選抜大会に出場できなかった悔しさから、自分の未熟さを痛感しました。しかし、常に私たちを見守り、時に厳しく、そして温かく導いてくださった監督のおかげで挫折を乗り越え、最後にはインターハイに出場することができました。監督からは、勝つことだけでなく人として成長することの大切さを教えていただきました。私たちは、仲間、保護者の方々、先輩方など沢山の人の支えられここまで来ることができました。困難に立ち向かう力、諦めない力、互いに支え合う大切さを忘れずこれからも歩んでいきたいと思っています。

ソフトテニス班 キャプテン
小野寺 葵さん(高3梅組)



中学校高等学校 Instagram

大学

本学名誉教授 鈴木知先生 メモリアルコンサートを開催しました

2024年2月に逝去された本学名誉教授 鈴木知先生を偲び、7月13日(日)にメモリアルコンサートが開催されました。



鈴木先生は、1948年、専門学校音楽科生として宮城学院に入学され、1953年、大学音楽科の第一期生として本学を卒業されました。卒業後、渡米し、ボストン大学で研鑽を積み、帰国後は40余年の長きにわたり、本学の音楽教育に専心され、多くの優れた門下生を育ててくれました。また、宮城学院同窓会長もつとめられ、宮城学院の発展とともに、その人生を歩んでこられました。

当日は、演奏に先立ち礼拝が執り行われ、その後、佐藤香さん(ニューヨーク州立大学パーチェス音楽院准教授)、相澤裕子さん、今野暁子さんの3名が、鈴木先生を偲び、感謝の想いを込めて演奏を捧げました。会場の礼拝堂には、鈴木先生を慕う多くの方がお集まりくださり、深い信仰心をもって音楽教育に生涯を捧げられた鈴木先生に感謝し、思い出を語り合うひとときとなりました。



当日の様子はこちらをご覧ください!▶

大学

河北新報「戦後80年」戦時下・戦後写真の カラー化に本学学生が協力

河北新報による「戦後80年」企画に本学の有志学生が賛同し、戦時下・戦後写真のカラー化プロジェクトに協力しました。



河北新報社にて写真資料を見る学生たち

きっかけは2024年12月、キャリア教育特別講義「戦争と平和の記憶をたどるーライフキャリアの視点」(天童睦子名誉教授・ジェンダー教育研究センター顧問)を受講した学生たちへ、河北新報社様より、本企画に協力する学生を募るお声がけをいただいたことでした。参画した学生14名の専攻は歴史学、教育学、文学など多岐に渡り、学芸員課程の学生も含まれました。

学生たちは数ヶ月に渡り、有識者のご指導のもと写真の選定・画像編集全般の作業に関わり、9枚の写真をカラー化しました。これらの写真は「懸命な姿 色まとう」(2025.3.28.朝刊掲載)の出しで、同紙に掲載されました。

この取り組みは学生たちにとって、いかに記憶の風化に抗い、平和の希求に結び付けるかを考える、有意義な一歩となりました。

(企画／本学ジェンダー研究教育センター)

新聞掲載記事はこちらからご覧いただけます!▶


中学校
高等学校

ドローンによる環境調査を実施しました!

去る8月5日～7日の3日間、宮城学院中学校高等学校 自然科学班が、仙台市街地にある森の重要性を学ぶために、神奈川大学附属中・高等学校 理科部と共同で本学院敷地周辺の森の環境調査に取り組みました。



秋田県立大学の研究チームから地球環境の変遷やドローンに関する講義を受けた後、調査を実施しました。生徒は初めて操作するドローンに興味津々で教えあいながら操作方法を学びました。

今回の共同調査は、上空の二酸化炭素や酸素の濃度を継続して測定し、都市に点在する森林の価値を科学的に示し、保護・育成を呼びかけるのが目的です。神奈川大学附属中・高等学校も本学院と同様、公園が隣接しており、公益財団法人 中谷財団の助成を受け、共同調査が実現しました。来年度以降も継続的に行われる予定です。生徒は、「自分たちの身近な場所にある森林の大切さを、実際に調査して科学的に示す取り組みに興味をもった。今後も頑張っていきたい。」と話してくれました。



ホームページ上でも活動を紹介しています!▶

こども園

豊かな恵みに感謝! こども園の収穫ラッシュ

全国的に記録的猛暑となった今年の夏、雨も少なく畑の野菜や5歳児が種から育て植えた田んぼの稲や畑の野菜の生育が心配でした。しかし、子どもたちと職員が枯れることがないようにと祈り水を与えたこともあり、ナスやキュウリは毎日のように収穫され、給食の食材に加わり提供されました。地域によっては水害や渇水で手塩にかけて育てていたお米が収穫できないところがありましたが、園の田んぼでは黄金色になった稲が首を垂れ収穫の時を待っています。その稲を子どもたちが鎌を手に刈り取り、自然乾燥させた後、脱穀した新米は11月の収穫感謝礼拝にも飾り、豊かな恵みに感謝し皆でいただく予定です。



また、こども園のシンボルの一つである北園庭の芝も涼を求めた子どもたちの水遊びのお陰で雨が降らずとも枯れず青々と育ち、最近では大きく育ったバッタたちの隠れ家や遊技場になっています。開園から間もなく10年を迎えます。これからもこの環境を大切に守って行きたいと思っています。



こども園の日常はこちらから▶

大学

宮城学院女子大学初の サテライトキャンパスが誕生しました!

本学と特定非営利活動法人 まちづくりスポット仙台は連携協定を結んでいます。このたび、同じく本学が連携協定を結んでいる大和リース(株)のご協力のもと、本学キャンパスにほど近い立地の商業施設BRANCH仙台内に、本学初のサテライトキャンパスを開設いたしました。



9月1日に開催された
覚書締結式での写真

このサテライトキャンパスは、これまでも学生の自主活動や市民講座で相互協力してきたまちづくりスポット仙台 交流スペースを活用し、「宮城学院女子大学サテライトスポット」(略称:サテスポ)と名付けられました。今後も地域のみなさまと本学をつなぐ拠点として利活用を行い、本学が保有する知見を地域のみなさまに還元するのみならず、本学の学生が地域のみなさまの知恵や経験を教えていただく機会を増やすことによって、学びの輪を広げていきます。



覚書締結式の様子はこちらをご覧ください!▶

中学校
高等学校

快挙! 放送班が全国大会ベスト6に

去る7月22日(火)～24日(木)、東京で行われた『第72回NHK全国高校放送コンテスト』において、宮城学院高等学校放送班の3年生泉田百合香さん、阿部美優香さん、2年生の花谷美海さんの3名が参加しました。泉田さんは、三島由紀夫『潮騒』を朗読し、全国の中でたった10人のみが進出する決勝へと駒を進め、放送班創設以来過去最高の成果となる、優秀賞(6位)を受賞しました。



また、7月30日(水)、31日(木)に香川県で開催された「第49回全国高等学校総合文化祭」に、宮城学院高等学校 放送班の3年生・阿部美優香さんが朗読部門で出場し、ブロック3位を受賞しました。朗読作品は、宮城県にゆかりのある作家岩井俊二氏の『キリエのうた』。主人公の瑞々しい心情を見事に表現し、聴衆の心を打ちました。

なお、宮城県大会では、惜しくも全国大会への出場を逃した生徒もありましたが、班員全員、高いレベルで健闘しました。この勢いを糧に、来年度もさらなる飛躍を期待しています。

当日の写真はこちらにも掲載しています!▶



同窓会

同窓生の活動を応援しています!

同窓会では卒業生の皆様の活動の支援の一環として、講演会やコンサート等の開催にあたり後援や協賛を行っております。今年8月には、宮城学院女子大学音楽科出身者による「REUNION Concert 2025」が開催され同窓会でも後援いたしました。



松山裕美子教授(音楽科32回生)をはじめ、宮城学院出身のピアニスト8名がそれぞれの想いを込めて演奏を披露しました。お一人お一人の個性あふれる演奏は素晴らしく、2時間を超すコンサートもあっという間で感動の余韻に浸りながら会場を後にしました。

このように学んだ時期が違う卒業生が集まり、演奏されている姿を拝見しますと、キリスト教に導かれた宮城学院での教育が素晴らしいということを改めて感じさせられます。

今後も同窓生の皆様の活動を応援していきたいと考えております。お問い合わせは同窓会事務室までお願いいたします。



同窓会ホームページ▶

法人

宮城学院のクリスマスにどうぞ! 公開クリスマス礼拝・行事のご案内

今年も宮城学院では、クリスマス待つアドヴェントの期間に数々のクリスマス行事を行います。皆さまと一緒にクリスマスの感謝と喜びを分かち合いたいと願っています。



皆さまどうぞお誘い合わせて宮城学院までお越しください。心よりお待ちしております。

◇クリスマスイルミネーション点灯式
11月17日(月) 16:30～17:00
場所:宮城学院礼拝堂およびベルタワー前(ピアノ池畔)

◇クリスマスを祝う音楽会
12月6日(土) 11:00～17:00 開場10:30
場所:宮城学院キャンパス内

◇宮城学院クリスマスチャペルコンサート
12月6日(土) 15:00～16:00 開場14:30
場所:宮城学院礼拝堂

◇公開クリスマス礼拝
12月23日(火) 16:30～17:45
場所:宮城学院礼拝堂



クリスマス行事の最新情報はこちらから▶

Close up! 学びの世界

宮城学院の教育や研究資源について、
多彩なキーパーソンに
焦点を充てて紹介します。

森のこども園が実践する 主体性を育むアウトドア教育

宮城学院女子大学附属認定こども園 森のこども園
庄子 いづみ 教頭



1971年生まれ。宮城学院女子短期大学保育科を卒業後、市内の幼稚園・保育所での勤務を経て、2004年より宮城学院女子大学附属幼稚園(現・宮城学院女子大学附属認定こども園 森のこども園)に入職。現在、こども園教頭を務める。

森のこども園が育む3つの心 「?」「!」「♡」

森のこども園の教育理念は、「不思議に思う心」「感動する心」「思いやりの心」の3つの心を育むことです。子どもたちは日々の遊びや生活の中でさまざまな「もの」「こと」「ひと」と出会い、その関わりの中で心を揺さぶられる経験を重ねて多くのことを学びます。私たちが大切にしているのは、子どもたちの気づきに共感し、その中で育つ心を丁寧に見守ることです。

保育の舞台は、敷地に広がる広大な森や畑。子どもたちは四季の変化を肌で感じながら、虫や草花に触れたり、雪遊びを楽しんだりします。今年の夏、年長組では、集めたセミの抜け殻を保育室の壁に種類ごとに分けて貼り、大きさの違いやどのくらい見つけたのかといった数の概念を、遊びながら学んでいました。

宮城学院の敷地にはカモシカやキツネ、タヌキ、リスなど多様な野生動物が生息しています。夜行性の動物を直接目にする機会はありませんが、子どもたちは足跡や食べた痕跡、糞などを見つけると、図鑑を使って調べ始めます。自然との関わりを通して「なぜ?」と疑問を持ち、「おもしろい!」と感動し、得た知識は仲間と共有することで一緒に過ごす楽しさを味わっていきます。

キリスト教教育を柱に 子どもの主体的な学びを尊重

宮城学院の建学の精神であるキリスト教教育は、森のこども園においても重要な柱となっています。毎日、クラスでは祈りの時をもち、週のはじめには園長先生と、毎月一度は学院長先生や中高・大学・宗教の先生方との礼拝があります。礼拝では、子どもたちも聖書の話聞き、神様に祈りをささげます。小さな花も草も、畑で育つ野菜も、雨もすべて神様の恵みであり、それらに出会えることの喜びと感謝の気持ちを育んでいきます。ある時、3歳児の子どもから「どうしていつも神様にありがとうなの?」と質問があったと担任から報告を受けました。こうした素朴な疑問を通して、神様に守られて、たくさんの人に愛されて毎日を過ごすことができているこ

とを、折にふれて一緒に考えていくことが大切だと考えます。

2016年に旧附属幼稚園からこども園となり、大きく変わったのは「遊び」や「学び」の環境がより豊かになったことだと思います。固定遊具がないから遊べないのではなく、この環境から、枝・石・葉の一つからでも自分たちで遊びを見つけて展開する、より想像力が豊かになった子どもたちの姿に頼もしさを感じます。自然の中で主体的な体験を重ねることで、子どもたちは知的好奇心をかきたてられ、見て、触れたものへの親しみと理解を深め、成長していきます。卒園生がこども園で培った探究心が、小学校でも活かされているという話を聞くと、園での経験が子どもたちの学びの土台となっていることを実感しますね。

さまざまな体験をして、 感動できる心を育てる

宮城学院女子大学との連携も、こども園にとって大きな財産です。森の音楽会での弦楽の演奏やクリスマス礼拝でのハンドベル演奏など定期的な文化活動。児童クラブでは生物の先生による体験活動なども実施。学生の実習やボランティアを通して新しい視点や活気ももたらされ、子どもたちにもよい刺激となっています。大学での研究や学びとこども園での実践が結びつくことで、教育の幅が広がり、保育の質も高まっているのではないのでしょうか。

私自身も学生たちと会う度に、附属幼稚園で実習していた頃の初心を思い出し、子どもたちと共に過ごす喜び、学び続ける姿勢を大切にしようと励まされています。私が保育の中で大切にしているのは、子どもたちのありのままの姿を受け入れ、自分は愛されているということを実感しながら安心して生活し、その子の歩みを尊重することです。私たち大人は急かさずに、必要な時にそっと寄り添い支える存在でありたいと思っています。

森のこども園が目指すのは「感動したぶんだけ、大きくなれる」子どもたちの育成です。自然や人との出会いをわくわくしながら楽しめる人に。人の痛みが分かり、どんなことにも柔軟に対応できるやわらかさをもつ心の豊かな人に成長してほしいですね。

卒業生紹介

MG talk Relation vol.19

様々な分野で活躍する
宮城学院の卒業生を紹介します。

学び舎で育まれた 豊かな感性が物語を紡ぐ力に

今でこそ作家として物語を執筆している私ですが、宮城学院女子大学に通っていた当時は、熱意を持って勉学に励むでもなく、バイトやサークル活動に打ち込むわけでもなく、正直に言えば、あまり模範的な学生ではありませんでした。

大学卒業後、私は「毎日会社に通勤する規則的な生活に、自分が耐えられるか不安」だという不純な動機から、在宅でも仕事ができる翻訳家を目指すことに決め、一般企業で働くかわら、約3年間、翻訳学校に通っていました。



しかしなかなか成果が出ず、翻訳家としてやっていく自信を失っていく一方で、翻訳した日本語の文章だけは褒められることが多く、「もしかししたら、自分で文章を書く仕事の方が向いているのではないか」と思うようになったんです。作家を目指すことが狭き門であることは理解していましたが、それまで小

渡辺 優さん

2010年度 宮城学院女子大学
学芸学部国際文化学科 卒業
2015年 作家デビュー

宮城県仙台市出身。大学卒業後、翻訳家を目指し、働きながら翻訳学校に通う。翻訳を学んでいく中で、自らの文章力に可能性を見出し、作家を志す道へ転向。2015年に著書『ラメルノエリキサ』が第28回小説すばる新人賞を受賞し、念願の作家デビューを果たす。以降、青春小説や推理小説を中心に、10冊以上の著作を発表。学生時代に培った多彩な経験と感性を生かし、「言葉の持つ力」を大切に作品を生み出している。

説を書いた経験がなかったため、「直木賞などを受賞して、もしかしたらすぐ作家としてデビューできるかもしれない!」という、素人ゆえの根拠のない自信もありましたね。

現実はもちろん甘くはなく、最初に応募した作品は選考にも残りませんでした。そこでようやく現実の厳しさを知り、また、自分の作品を読んでもらうことや、客観的な評価をもらう重要性に気づいたんです。

気持ちを新たに執筆に取り組み、作品を書いては応募を重ねました。そして「これでダメなら諦めよう」と覚悟を決めて臨んだ3作目が、デビュー作『ラメルノエリキサ』です。デビューした当時は、夢が叶った喜びと共に、当時はお金に困っていたので「賞金が入るから、来年も住民税などを払える」という、生活面での安心感も大きかったですね(笑)。

私は大人になってから小説を書き始めたため、学生時代から創作活動をしていれば、当時の感性でしか書けない話があったのではないかと、今でも少し後悔する部分があります。

それでも作家になってから強く感じるの

大学図書館に並ぶ
渡辺さんの著書



は、宮城学院女子大学に通うことができて本当に良かったということです。自然豊かな空間、音楽に触れられる環境、海外実習などを通して得られる様々な学びの機会、私のように肩の力を抜いている学生にも温かい学友と学び舎…。また、幼少期から本に親しみ「言葉の持つ力」に触れてきたこと、SNSで日記を書いていたこと、様々なアルバイトを経験したこと——これら全てが、今の私の大きな財産になっています。

学生の皆さんも、どうか「楽しい!」と思える時間を大切にしてください。学生生活の中でしか得られない経験が、後々、人生を支える力につながるはずですよ。苦手なことを無理に頑張らず、好きなことを全力で楽しむことが、将来の自分を形づくる上で大切な糧になります。皆さんが楽しく健やかな学生生活を送れることを、心から願っています。



2025年度予算について

予算編成について

- 1.2025年度は、2024年度に引き続き大変厳しい予算編成となりました。この状況ではありますが、各設置学校が策定した教育事業の遂行及び桜ヶ丘キャンパス移転後44年の経過に伴う建物設備計画的修繕工事として、音楽館・学生センター屋上防水改修工事等を、大学情報基盤整備事業として、情報教室PC更新費用、情報教室ラーニング・コモンズ改修費用、大学図書館1階空調設備更新等の重要施策を策定いたしました。
- 2.2025年度新入学生生徒等数は、第5次中期計画を基本としつつも、入試状況を踏まえ大学679名（見込み）、大学院6名（見込み）、高校100名（見込み）、中学30名（見込み）、こども園120名（見込み）の全学生生徒等数合計3,370名を見込みました。
- 3.2025年度予算の学生生徒等納付金は、大学は学生数減を見込み前年度補正予算比較（以下、「前年度予算比」という。）50,744千円減の3,109,221千円、中学校・高等学校は生徒数減を見込み前年度予算比14,457千円減の275,580千円、こども園は前年度予算比823千円増の34,573千円となり、法人全体では前年度予算比64,378千円減の3,419,374千円を見込みました。経常費等

補助金は法人全体として前年度予算比5,912千円増の876,287千円を見込みました。

- 4.学校の本業である教育研究活動による教育活動収支差額は、前年度予算比52,607千円増の△141,635千円となりました。さらに、単年度において学校運営の状況を把握するため財務活動を加味した後の経常収支差額は、前年度予算比40,917千円増の△86,231千円となりました。臨時的な活動の特別収支差額を加味した後の基本金組入前当年度収支差額は、前年度予算比142,779千円増の△45,330千円となり、基本金組入後当年度収支差額は前年度予算比110,609千円増の△1,822,281千円となりました。
- 5.特別事業計画として、音楽館・学生センター屋上防水改修及び外壁改修工事、講義館耐震改修工事、分電盤更新工事、中学校・高等学校新校舎建設工事、上谷刈校地駐車場整備工事等1,388,124千円を計上しました。臨時的事業計画として、視聴覚設備更新費用等として50,318千円を計上しました。大学情報基盤整備事業として、情報教室PC更新費用、情報教室ラーニング・コモンズ改修費用、大学図書館1階空調設備更新等257,259千円を計上しました。
- 6.資金収支予算について、翌年度繰越支払資金は昨年度比442,516千円減の1,563,785千円となりま

した。特別事業計画として行う分電盤更新工事、中学校・高等学校新校舎建設工事、上谷刈校地駐車場整備工事、大学情報基盤整備事業として行う情報教室PC更新費用、情報教室ラーニング・コモンズ改修費用、大学図書館1階空調設備更新等に対する支払については、減価償却引当特定資産から支払資金として充当いたします。

2024年度決算について

教育活動収支はまさしく本業である学校本来の教育研究活動によるもので、その教育活動収支差額は基本的にはプラスとなるべきです。2024年度法人全体として、教育活動収支差額は△41,623千円、教育活動外収支差額は60,362千円、経常収支差額は18,739千円となっています。以下、本年度決算の概要について報告します。

1.事業活動収支計算書

当該会計年度の収支を経常的な収支と特別な収支(臨時的収支)に区分し、経常的な収支については、本業である教育活動収支と、財務活動を中心とする教育活動外収支に分けて、内容を明らかにするとともに、当該会計年度の基本金組入額を控除して事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としています。

(1) 教育活動収支

教育活動収入計は、昨年比67,888千円減の4,686,353千円となりました。教育活動支出計は、昨年比72,407千円増の4,727,976千円となりました。教育活動支出の主なものとして、人件費(退職金及び退職給与引当金繰入額を含む)は昨年比43,842千円減の2,571,418千円、教育研究経費(減価償却額を含む)は昨年比66,584千円増の1,852,818千円、管理経費(補助活動事業支出及び減価償却額を含む)は昨年比47,610千円増の300,149千円となりました。教育活動収入計から教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は、昨年比140,296千円減の△41,623千円となりました。

(2) 教育活動外収支

教育活動外収入計は、全て受取利息・配当金で昨年比6,089千円減の60,600千円となっています。教育活動外支出計は全て借入金等利息で239千円です。

以上により、教育活動外収支差額は、昨年比6,039千円減の60,361千円となっています。

(3) 特別収支

特別収入計は、昨年比24,977千円増の76,052千円となりました。これは、その他の特別収入の内、施設設備補助金として大学の私大研究設備整備費補助金が採択となったことによる

70,063千円が主なものです。

特別支出計は、108,466千円となりました。これは、正門南駐車場整備工事に伴う旧幼稚園園舎の除却、図書除却による資産処分差額が主なものです。

以上、特別収入計から特別支出計を差し引いた特別収支差額は△32,414千円となっています。

(4) 基本金組入額

基本金は、全体で1,677,359千円を組入れました。第1号基本金は、主に固定資産取得等によるもので1,645,625千円を組入れ、第3号基本金は、奨学基金30,634千円、教育基金1,100千円を計画どおり組入れました。第2号基本金は、学術情報館建設資金の計画廃止に伴い644,099千円の取崩を行い基本金取崩額として表示しました。

(5) 当年度収支差額及び翌年度繰越収支差額

当年度収支差額は△1,691,035千円となり、翌年度繰越収支差額は△3,662,207千円となっています。

2.資金収支計算書

当該会計年度に行う諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金及びいつも引き出すことができる預貯金をいう。)の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的としています。

(1)2024年度の資金収入は、前年度繰越支払資金2,180,873千円を含めた資金収入全体が9,214,635千円となり、前年度と比べて594,205千円増となりました。翌年度繰越支払資金は、2,087,671千円となり、前年度と比較し93,201千円減となりました。

(2)収入の部では、学生生徒等納付金収入、手数料収入は事業活動収支計算書の収入と同じです。新入生数に関係する納付金等の前受金収入は、昨年比36,069千円減の567,398千円となりました。その他の収入には、各引当特定資産からの取崩収入等が含まれています。

(3)支出の部では、人件費支出には退職金支出197,004千円が含まれています。借入金等返済支出は、さくら寮の建設資金借入返済を含め112,840千円となっています。施設関係支出は1,489,292千円で、前年度と比べ360,436千円増となりました。設備関係支出は前年度比6,733千円減の72,352千円となりました。資産運用支出は、減価償却引当資産等に976,516千円を繰入れました。

3.貸借対照表

資産の部、負債の部、純資産の部で構成され、当該年度末の財政状態を表すことを目的としています。

(1)資産の部は、合計24,428,282千円となり、前年

度末24,522,712千円から94,430千円減となりました。有形固定資産は前年度末11,226,765千円から985,709千円増の12,212,474千円、特定資産は前年度末10,529,027千円から1,005,856千円減の9,523,171千円、その他の固定資産は前年度末370,507千円から42,373千円減の328,134千円となりました。なお、流動資産は前年度末2,396,413千円から31,909千円減の2,364,504千円となっています。

(2)負債の部は、固定負債の長期借入金が351,800千円、流動負債の短期借入金が96,840千円等により負債の部合計は、前年度末2,837,210千円より80,755千円減の2,756,455千円となりました。

(3)純資産の部の基本金は、全体で25,334,034千円となり、前年度末比で第1号基本金は

1,645,625千円増、第2号基本金は644,098千円減、第3号基本金は31,734千円の増です。繰越収支差額の翌年度繰越収支差額は、△3,662,207千円となりました。

(4)資産の部合計24,428,282千円から負債の部合計2,756,455千円を差し引いた純資産の部合計は21,671,827千円となり、純資産構成比率(旧会計基準:自己資金構成比率)は、88.7%(前年度88.4%)となりました。また、運用資産の蓄積度を示す内部留保資産比率は、36.2%(前年度40.3%)となりました。なお、新学校法人会計基準で新設された積立率(運用資産÷要積立額)は、学校法人の将来の確定的債務や奨学金の原資となる基金について、どの程度保有資産の裏付けがあるかを示す比率でありますが、78.3%(前年度87.1%)となっています。

2024年度決算

貸借対照表

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	22,063,778	22,126,299	△62,521	固定負債	1,578,613	1,713,427	△134,814
有形固定資産	12,212,474	11,226,765	985,709	流動負債	1,177,842	1,123,783	54,059
特定資産	9,523,171	10,529,027	△1,005,856	負債の部合計	2,756,455	2,837,210	△80,755
その他の固定資産	328,134	370,507	△42,373	純 資 産 の 部			
流動資産	2,364,504	2,396,413	△31,909	基本金	25,334,034	24,300,773	1,033,261
資産の部合計	24,428,282	24,522,712	△94,430	繰越収支差額	△3,662,207	△2,615,271	△1,046,936
				純資産の部合計	21,671,827	21,685,502	△13,675
				負債及び純資産の部合計	24,428,282	24,522,712	△94,430

(単位：千円)

資金収支計算書

(単位：千円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,483,752	3,483,052	700
手数料収入	47,036	39,058	7,978
寄付金収入	49,096	43,874	5,222
補助金収入	910,250	1,033,970	△123,720
資産売却収入	180	180	0
付随事業・収益事業収入	32,449	38,828	△6,379
受取利息・配当金収入	67,319	60,600	6,719
雑収入	152,364	146,840	5,524
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	617,373	567,398	49,975
その他の収入	2,478,466	2,442,413	36,053
資金収入調整勘定	△737,646	△822,451	84,805
前年度繰越支払資金	2,180,873	2,180,873	
収入の部合計	9,281,512	9,214,635	66,877
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,633,961	2,611,713	22,248
教育研究経費支出	1,476,430	1,424,228	52,202
管理経費支出	297,347	290,661	6,686
借入金等利息支出	225	238	△13
借入金等返済支出	112,840	112,840	0
施設関係支出	1,502,313	1,489,292	13,021
設備関係支出	80,407	72,352	8,055
資産運用支出	1,088,023	1,165,510	△77,487
その他の支出	420,801	433,149	△12,348
(予備費)	18,274	(858)	18,274
資金支出調整勘定	△355,410	△473,019	117,609
翌年度繰越支払資金	2,006,301	2,087,671	△81,370
支出の部合計	9,281,512	9,214,635	66,877

事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	3,483,752	3,483,052	700
		手数料	47,036	39,058	7,978
		寄付金	51,106	45,930	5,176
		経常費等補助金	870,375	963,907	△93,532
		付随事業収入	4,887	7,161	△2,274
	支出の部	雑収入	152,364	147,245	5,119
		教育活動収入計	4,609,520	4,686,353	△76,833
		人件費	2,593,565	2,571,418	22,147
		教育研究経費	1,894,174	1,852,818	41,356
		管理経費	316,881	300,149	16,732
教育活動外収支	収入の部	徴収不能額等	0	3,591	△3,591
		教育活動支出計	4,804,620	4,727,976	76,644
		教育活動収支差額	△195,100	△41,623	△153,477
		受取利息・配当金	67,319	60,600	6,719
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	支出の部	教育活動外収入計	67,319	60,600	6,719
		借入金等利息	225	239	△14
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	225	239	△14
		教育活動外収支差額	67,094	60,361	6,733
経常収支差額		△128,006	18,738	△146,744	
特別収支	収入の部	資産売却差額	55	55	0
		その他の特別収入	45,966	75,997	△30,031
		特別収入計	46,021	76,052	△30,031
	支出の部	資産処分差額	87,850	100,894	△13,044
		その他の特別支出	0	7,572	△7,572
		特別支出計	87,850	108,466	△20,616
特別収支差額		△41,829	△32,414	△9,415	
(予備費)		(858)			
		18,274		18,274	
基本金組入前当年度収支差額		△188,109	△13,676	△174,433	
基本金組入額合計		△1,744,781	△1,677,359	△67,422	
当年度収支差額		△1,932,890	△1,691,035	△241,855	
前年度繰越収支差額		△2,615,271	△2,615,271	0	
基本金取崩額		644,099	644,099	0	
翌年度繰越収支差額		△3,904,062	△3,662,207	△241,855	
(参考)					
事業活動収入計		4,722,860	4,823,005	△100,145	
事業活動支出計		4,910,969	4,836,681	74,288	

※ 貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書の各項目の金額はそれぞれ千円未満を四捨五入して表示しているため、合計欄に表示されている金額と一致しない場合があります。

Information

募金者芳名

【2025年2月1日～2025年9月30日受付分】

◎募金総額13,029,040円（2025年9月30日現在）

一般・法人

金200,000円

匿名1名様

金100,000円

長谷川体育施設
株式会社東北支店様
東北プリント様
櫻村 重慶様

金50,000円

高橋 京子様

金40,000円

高橋 薫様

金30,000円

匿名1名様

金20,000円

宮城学院同窓会
福島支部様
匿名1名様

金10,000円

伊藤 四美男様
東西クリニック仙台様
加藤 孝様
櫻井 あけみ様
今泉 欣一様
波多野 雄治様
長谷川 清純様
工藤 恒夫様
匿名4名様

大学・大学院

金30,000円

久間 愛弓様
匿名2名様

金20,000円

越田 美穂子様
櫻田 政信様
匿名3名様

金10,000円

小野 道教様
小野寺 俊和様
五十嵐 保永様
木村 拓也様
渡邊 正志様佐々木 寛之様
菅野 正聡様
永瀬 孝博様
朴澤 泉様
野田 義光様
結城 勘寿様
鎌田 繁人様
福元 弘毅様
小林 隆之様
匿名7名様

高等学校

金50,000円

伊藤 幸子様

金30,000円

梶井 亮介様

金20,000円

外山 裕章様
匿名1名様

金10,000円

西村 博英様
島 生蔵様
星 実様
佐藤 誠一様
小林 隆之様
匿名1名様

中学校

金100,000円

宮澤 麻衣様

金30,000円

仲田 麻里子様

金20,000円

稲井 昌吾様

金10,000円

富岡 佳久様
本谷 綾子様
相澤 雅之様
匿名6名様

同窓会

金2,700,000円

匿名1名様

金1,200,000円

佐藤 めぐみ様

金200,000円

大久 詔子様

金100,000円

佐々木 恵里様
百瀬 由美子様
加藤 亮子様
少覚 和子様
伊能 美智子様
清水 恵子様
麦倉 令子様
石川 幹子様
小野 安子様
匿名1名様

金50,000円

小林 幸子様
大場 喜久子様
五十嵐 麻子様
匿名2名様

金30,000円

稲井 慶子様
川村 悦子様
成田 由紀子様
蛇子 美奈子様
水上 やす子様
飯野 邦枝様
嶋山 三枝子様
江刺 彰子様
琴 良淑様
大宮司 美和子様
那珂 純子様
匿名1名様

金30,000円

大泉 眞理様
笹子 喜美江様
佐藤 美枝子様
匿名4名様

金23,040円

MGBC
宮城学院
パイルクラブ様

金21,000円

匿名1名様

金20,000円

鎌谷 光子様
小泉 節子様後藤 淳子様
小田島 留美子様
高橋 美幸様
志賀 順子様
天野 久子様
齋藤 一枝様
匿名5名様

金10,000円

長井 富美子様
澤山 幸江様
市川 富美子様
八木 恵様
大場 瑞姫様
奈良 耀子様
富澤 香代子様
佐藤 由香里様
二階堂 実華様
小坂 恵美子様
斎 つな様
竹川 富久子様
善積 則子様
森戸 祥子様
岡本 富紀子様
篠原 美枝子様
武田 祥子様
今野 舞様
藤井 精子様
安住 恵子様
江渡 まさ様
高根 幸子様
齋藤 重子様
谷上 節子様
中倉 節子様
松永 純子様
有原 芳枝様
岩崎 智子様
今野 眞樹様
熱海 幸子様
大沼 多美子様
大井 栄子様
小島 奈々様
小野 優子様
佐々木 美保子様
鈴木 文子様
今井 洋子様
星 終子様
山岡 京子様
鈴木 恵美子様
渡辺 光子様鈴木 栄子様
千田 容子様
伊藤 陽子様
高田 紀子様
斎藤 房江様
佐々木 海帆様
清水川 綾様
渡辺 厚子様
中村 温子様
新井 真理子様
渡辺 信子様
伊藤 泰子様
菅原 浩美様
高橋 己波子様
黒羽根 裕美様
石川 悠加様
福田 富美子様
菊池 英子様
佐藤 瑞江様
芳賀 知子様
大和谷 道子様
戸田 寿子様
阿部 奈加子様
二戸 広美様
野々垣 かず子様
渡辺 寧子様
川崎 直子様
尾形 由紀子様
濱田 庸子様
鈴木 美耶子様
飯田 満里子様
片岡 芳子様
千葉 淑子様
新井 彩子様
新井 道子様
八巻 美沙子様
赤羽 洋子様
前川 徳子様
男澤 敦子様
柴田 ひとみ様
阿部 喜久子様
針生 裕子様
横澤 美智子様
熊谷 倫子様
金子 幸恵様
藤井 和子様
早田 弘美様
福永 洋子様
佐藤 弘子様頼高 美枝様
齋藤 タミ子様
狩野 慶子様
狩野 莉奈様
狩野 冴綺様
吉田 智子様
宮川 美代子様
中島 由美子様
植木 史子様
石川 義子様
末廣 純子様
前森 貴恵子様
小野 愛様
高橋 比呂花様
縄田 美々子様
斎藤 悠加様
吉田 潤子様
本木 有紀様
竹中 智子様
吉野 君代様
丹治 道子様
長谷川 京子様
佐藤 敦子様
沼澤 優子様
中野 紹子様
林 愛子様
柴崎 世紀子様
菊地 順子様
森 千恵子様
大庭 芳子様
村形 祐子様
有馬 千賀子様
武田 美穂様
奥 玲子様
鴨井 治枝様
工藤 知津子様
佐藤 眞紀子様
守屋 房枝様
秋山 恵美様
竹本 優子様
阿部 康子様
上野 美恵子様
石原 あけみ様
鈴木 とも子様
佐藤 秀子様
奥津 光子様
佐々木 俊恵様
杉浦 キヨ子様
似内 美和子様佐久間 節恵様
草野 眞木子様
熊谷 朋子様
飯淵 直子様
菅原 陽子様
武松 真由美様
山本 えい子様
座小田 和子様
今野 裕美子様
二川 和子様
小松 真澄様
今野 悦代様
荒井 美穂様
高橋 弘子様
及川 ふき子様
小山 由紀子様
菅原 恵美子様
阿部 葉月様
中目 美美子様
勅使瓦 理恵様
関口 ちさ子様
中嶋 ちさ子様
吉賀 よし子様
沼田 アケミ様
匿名63名様

金2,000円

阿部 由佳子様
檜原 京様
遠藤 敬子様
匿名1名様

金1,000円

北原 莉子様

役員・教職員・旧教職員

金1,000,000円

佐々木 哲夫様

金500,000円

本田 辰雄様

金300,000円

武田 雅比人様

金200,000円

長谷部 弘様

金100,000円

間庭 洋・妙子様

栗田 敏光様

嶋田 順好様

佐藤 勝博様

平賀 真理子様

金50,000円

白木 悦子様

匿名1名様

金30,000円

庄子 泰子様

加藤 嘉子様

中本 純様

金20,000円

虎川 清子様

高橋 陽一様

金10,000円

中村 郁子様

相澤 紀美恵様

田中 秀和様

伊藤 哲彦様

山口 勝也様

菅澤 美保様

匿名4名様

金5,000円

匿名1名様

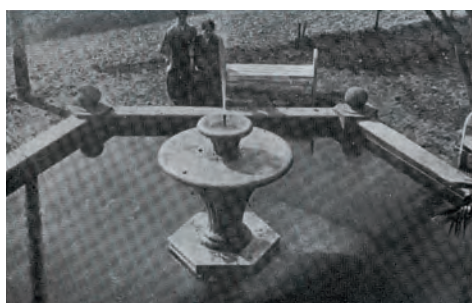
皆様のご理解とご協力に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

今と昔をつなぐ噴水池

現在、礼拝堂の脇にある噴水池は、東三番丁の旧キャンパス時代から学生たちの憩いの場でした。皆さんがいつも見ている噴水池は、いつ頃、どんな理由で造られたのでしょうか。

『宮城学院八十年小誌』に、噴水池は1928(昭和3)年に昭和天皇の即位記念として建設されたことが記載されています。1945(昭和20)年の仙台空襲では、校舎9棟中7棟が焼失しましたが、噴水池は被災を免れ、今日まで97年の月日を宮城学院と共に過ごしてきました。

長く本校の象徴の一つとして親しまれてきた噴水池ですが、実は、1980年の桜ヶ丘キャンパス移転時に、噴水池の移設は計画に含まれていなかったことが当時の資料や関係者の話からわかりました。移転から3年後、噴水池に強い想い入れのある同窓生から資金が集まり、ようやく今の場所に復元されました。旧キャンパスと新キャンパスの接点ともいえる噴水池。いつしか「建学の泉」と呼ばれるようになり、今日もまた静かに宮城学院に集う人々を見守り続けています。



昭和天皇即位を祝して建設された噴水
（『宮城学院八十年小誌』より）



噴水池の解体作業



現在の桜ヶ丘キャンパスの噴水

受け継がれて
いくもの

—歴史のこぼればなし—

vol.

3